

特別研究員（地域連携型）の派遣申請の流れ

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（以下「研究所」とする。）では、研究実施に有用な地域の教育現場の情報を得るために、都道府県等と協力して研究を行うことを目的とした、特別研究員（地域連携型）（以下「特別研究員」とする。）を受け入れています。特別研究員は、1年間研究所で勤務しながら、研究所が取り組む研究に参画し、研究課題と関連した地域の課題に関する研究に取り組みます。

【特別研究員の役割】

- ・特別研究員は、1年間研究所に勤務しながら、研究所の研究に参画する。
- ・研究課題に関連する地域の情報の提供や他の都道府県等の先進的な取組等に関する情報収集を行うなど、研究職員と協働して研究に取り組む。
- ・研究所の研究課題と関連した地域課題の研究を行う。

【特別研究員の活動】

- ・研究職員と共に先行研究についての調査・分析する/実地調査等の調査項目の検討や実地調査を行う
- ・特別研究員の所属校や地域における研究テーマに関連する情報収集・提供 等（参考資料1参照）

【特別研究員の対象】

- ・教育委員会、教育センターで特別支援教育に関わる職員や学校・園の教職員

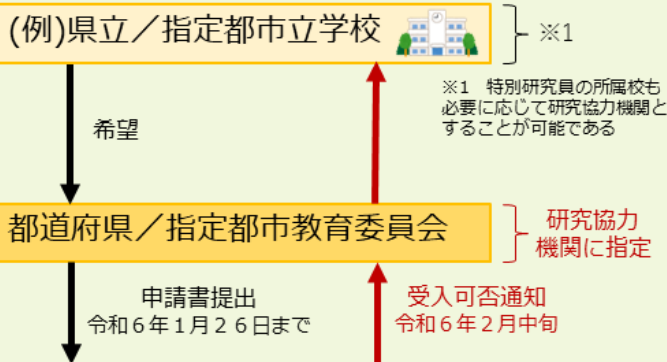
令和6年度特別研究員（地域連携型）公募スケジュール

【公募】令和5年11月下旬

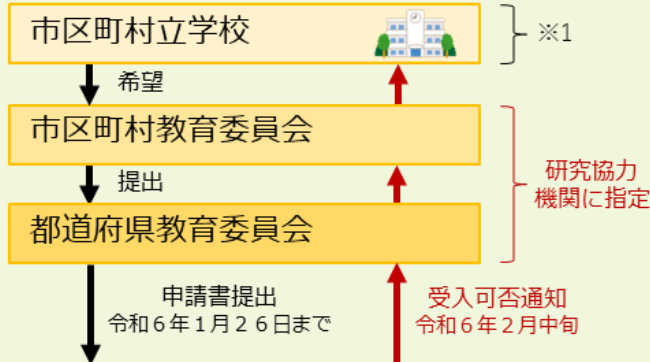
研究所が取り組む重点課題研究・障害種別特定研究5課題に対して公募する。

【派遣申請・受入可否通知】流れ

(例)特別研究員の所属校が
県立学校または指定都市立学校の場合



(例)特別研究員の所属校が
指定都市を除く市区町村立学校の場合



【特別研究員の受入に関する事前ミーティング】令和6年3月中旬・4月上旬

当研究所の関係研究員、教育委員会及び特別研究員の研究活動についてオンライン会議を開催する。

【特別研究員派遣】令和6年4月～令和7年3月

研究所は受入研究チームと担当部署（研究企画部）により、研究活動の支援等を行う。

教育委員会は特別研究員の活動が充実されるよう支援等を行う。（詳細は公募要領参照）